

宮城県 商工連合会報

発行所 仙台市青葉区上杉一丁目14番2号
宮城県商工振興センター内
宮城県商工会連合会
TEL. 022(225)8751
FAX. 022(265)8009
URL.http://www.miyagi-fsci.or.jp/
発行責任者 会長 佐藤 浩
印刷所 株式会社セイトウ社



綴じ込んで保管しましょう

元気な事業所紹介 有限会社 木村屋商事 (石巻かほく商工会)

桃生郡河北町(現石巻市)尾ノ崎で創業し、伊勢丹、高島屋等百貨店で販売される日本の主要ブランド(ハナエモリ、ヨウジヤマモト)のシルク製スカーフ等の縫製加工を行う。東日本大震災で工場・設備が全壊し事業存続が危ぶまれたが、石巻市相野谷地区に工場を復旧。新たな機械導入による生産力向上と縫製技術の継承とともに、子育て世代の女性も安心して働ける職場環境整備にも取り組んでいる。
(詳細は5ページ)

台風19号による被害を受けられた皆様に心よりお見舞い申し上げます。

10月12日に上陸した台風19号により阿武隈川や吉田川等が氾濫するなど、丸森町や大郷町をはじめ県内全域にわたり浸水被害や土砂崩れ等により大きな被害をもたらしました。

被害を受けられた事業者の皆様に心よりお見舞い申し上げます。

本会では、県下全商工会並びに宮城県よろず支援拠点に特別相談窓口を設置しておりますので、ご相談下さい。

【災害救助法の適用による国の中小・小規模事業者支援策】

- ①特別相談窓口の設置
- ②災害復旧貸付の実施
日本政策金融公庫等による災害復旧貸付を実施
- ③セーフティネット保証4号の適用
信用保証協会が一般保証の別枠で融資額の100%保証
- ④既存債務の返済条件緩和等の対応
日本政策金融公庫等による条件変更・貸出手续の迅速化等の対応
- ⑤小規模企業共済災害時貸付の適用
契約者に対する即日・低利融資を行う災害時貸付を適用

小規模企業対策予算大幅増加 — 商工会長セミナー・商工会長会議 —

九月二十六日、商工会長セミナー・商工会長会議が、県内の商工会長等三十二名参加のもと、栗原市ハイルザーム栗駒にて開催された。

セミナーでは、まず、全国連宮本武史専務理事より「商工会を取巻く環境と今後の対応について」と題し講演が行われた。

小規模事業者を取り巻く環境は以前にも増して厳しく



活発な意見交換が行われた会長会議

なっている。そのような中、

小規模事業者持続化補助金等国の予算は大幅に増大し、個人版事業承継税制の改正等事業承継に対して国も力を入れているとともに、中小・小規模事業者をはじめとした人手不足の深刻化に対する外国人材の受け入れ制度拡充（改正入管法）や働き方改革に向けた支援、助成金の創出など、

国の支援施策は確実に手厚くなっていく。消費税率の引き上げに関しては、軽減税率導入後の検証にあたって、事業者の負担や免税事業者の取引からの排除など、影響を慎重に検討するよう引き続き要望していくこととしている。地域中小・小規模事業者への支援にこの様々な施策を上手に活用し、地域経済の活性化に貢献していただきたいとの説明を頂戴した。

続いて、栗原市商工観光部

ジオパーク推進室佐藤英和係長より、「栗駒山麓ジオパークの取り組みについて」と題

し講演が行われた。栗原市は平成二十年の岩手・宮城内陸地震から三年間で震度六強を超える地震を三度経験した全国でも稀な地域である。震災からの復旧だけで終わらせることなく、この経験を未来へ継承していくことが必要とのことから、震災からの復興と地域活性化を目指し、ジオパークを活用した取り組みが始まり、関連食品開発等、地域資源を活用した総合的な事業を通じて、交流人口と実人口の増加、雇用創出、地域産業の発展を目指しているとの説明がなされた。

出席者からは、インバウンド客や登山客への対応等について質問があり、佐藤氏からは、今後の受入態勢整備の取組や大学との連携を進めていく旨回答がなされた。

セミナー終了後の会長会議では、中小・小規模事業者への支援強化策、市町村に対する中小企業・小規模企業振興に関する条例制定に向けた要望状況、そして法定経営指導員に関する事項について慎重な審議が行われた。

翌日、希望者に対し専門ガイドによる栗駒山麓ジオパーク見学を実施した。地すべり

では国内最大級の荒砥沢地すべりや冷沢崩落地などの見学を通じて、自然災害とその地に暮らす人々との共生によって地域文化が育まれてきたことを学んだ。最後に、本年四月にオープンした、栗駒山麓ジオパークの地質・地形や生態系などを学ぶビクターセンタールを見学し、二日間の日程を終了した。



専門ガイドによる栗駒山麓ジオパーク見学

栄えある受賞おめでとうございます

この度、商工会関係で次の方々が受賞されることとなりました。晴れの榮譽に輝かれたことをお祝い申し上げます。

秋の叙勲 【旭日单光章】



大久保雄一氏
(川崎町商工会 前会長)



齋藤 昭芳氏
(二追花山商工会 前会長)

文化の日表彰



小島 哲夫氏
(名取市商工会 会長)



事業承継のポイントについて解説する城所弘明氏

去る八月二十六日から三日までの五日間、県内五会場において「事業承継啓発セミナー」を延べ一〇八名参加のもと開催した。

セミナー第一部では、城所会計事務所（東京都）の城所弘明所長より、「事業承継に必要とされることは、現経営者の経営ノウハウ、人脈、信用、知的財産などの目に見えにくい経営資源の引継ぎが非常に重要である。」とした上で、戦国武将の武田信玄、織田信長、徳川家康が行ってきた後継者に対するそれぞれの「引継ぎ」の特徴を事例に挙げながら、後継者に対する経営者としての自覚を促す対策

歴史に学ぶ事業承継

成功の着眼点は何か？

ブロック別事業承継啓発セミナー

去る九月二十五日、仙台卸商センター「サンフェスタ」にて、東日本大震災や関連する風評被害等で販路を失った水産加工業者、新たな販路開拓を目指す食品製造業者等を対象とした商談会を宮城県中小企業団体中央会との共催で開催した。

当日は、県内及び隣県のスーパーマーケット、旅館・

新たな販路拡大に向け

「ぐるつとMIYAGI」

「ちよつとイイもの」食の商談会

ホテル、さらに本年度より新たに飲食業者を加えた十七社のバイヤーを招き、商工会経営指導員や本会サポーターイングリダー、宮城県よろず支援拠点の専門家等によるサポートのもと、自社商品の販路拡大を目指す県内二十八社のサプライヤーが商談を行った。

商談会開催前の去る六月



出展ブースでは各社一押し商品を積極的にPRした

二十七日には、参加サプライヤーとサポーター役となる商工会経営指導員を対象に「商談力・販売力向上セミナー」を開催し、今求められている食品業界の最新トレンドや、

本会では、来る十一月十四日に「商談力・販売力向上セミナーⅡ」を開催し、本商談会に参加したサプライヤーの課題等を洗い出すとともに、今後も伴走型支援を通じて、バイヤーへ定期的な商品情報の提供を行うなど、小規模事業者等の更なる販路拡大に向けた継続的な支援を行うこととしている。

成果もあり、参加したサプライヤーは、バイヤーの目に留まるよう商品の展示陳列に工夫を凝らし、積極的に自社商品をPRする様子が見えられた。

や後継者に補佐役をつける方法等、事前準備を早めに行うことと行うことが、事業承継をスムーズに行うポイントであるとの説明を頂戴した。

また、特例承継計画認定による贈与税及び相続税の納税猶予、さらに、本年度創設された「個人版事業承継税制」に基づく個人事業承継計画書

の記入方法について、城所氏オリジナルの記入例を参考に詳しく紹介していただいた。

セミナー第二部では、宮城県事業引継ぎ支援センター及び宮城県事業承継ネットワーク事務局の専門家やコーディネーターより、事業承継支援の活動実績や支援内容等について紹介がなされ、セミナー終了後の個別相談会では、今後の具体的な事業承継について延べ四社の相談を行った。



県内5ブロックで開催(写真は栗原・登米ブロック会場)

本セミナーを通じて、事業承継に関する経営者の心構えから最新の事業承継税制の特徴等について、各講師からわかりやすく丁寧な説明を行っていただいたことにより、参加者に対し事業承継への早期取り組みを後押しすることができた。

の本格施行に伴う事前準備、商談時に必須である「FCP展示会・商談会シート」の作成手法等、成約率を高めるための事前対策を行った。その成果もあり、参加したサプライヤーは、バイヤーの目に留まるよう商品の展示陳列に工夫を凝らし、積極的に自社商品をPRする様子が見えられた。



県内28社のサプライヤーが参加した「食の商談会」

よろず支援拠点では“出張相談会”を開催します！
お近くの会場でああなたの悩みをご相談下さい。

【12月・1月の出張相談会開催予定】

場所	開催日
県大河原合同庁舎（大河原町）	12/17(火)、1/21(火)
県大崎合同庁舎（大崎市古川）	12/19(木)、1/16(木)
県栗原合同庁舎（栗原市築館）	12/20(金)、1/17(金)
県石巻合同庁舎（石巻市）	12/10(火)、12/24(火)
県登米合同庁舎（登米市迫町）	12/19(木)、1/16(木)
県気仙沼合同庁舎（気仙沼市）	12/18(水)、1/15(水)

■開催時間：午前10時～午後4時

■定 員：各日とも5名まで（お一人あたり1時間の相談です）

【主催・お問い合わせ・お申し込み】



中小企業庁委託事業
宮城県よろず支援拠点



お電話でのお問い合わせ
022-393-8044



メールでのお問い合わせ
yorozu@office.miyagi-fsci.or.jp

サテライトオフィス上杉 仙台市青葉区上杉1丁目16-8（プロスペール本田 3階）

商店街活性化のためのヒントを学ぶ —地域商店街活力向上講演会—

地域人口の減少や高齢化等商店街が抱える問題・課題解決の一助とするため、去る十月十六日TKP仙台カンファレンスセンターにて地域商店街活力向上講演会を開催した。

第一部では、山形県七日町商店街振興組合の下田孝志事務局長より「今あるものに向き合う事」と題し講演いただいた。当商店街における様々な取り組み事例を通じて、こ

れからの商店街活力向上のキーワードは、それぞれの地域が持つ個性をまちの魅力として顕在化させ、可視化し続けることであるとの説明を頂戴した。

第二部では、本会が昨年度実施した「地域商店街繁盛店調査研究事業」にて取り上げた繁盛店の中から、消費者から支持される独自の取り組みを継続的かつ効果的に実施している、よつばbakery。



熱心に聴講する参加者

よつばbakery代表 平間香織氏、杉原功商店代表 杉原崇氏を招き、各々の事例について発表いただいた。参加者からは「今回の講演会を通じて、商店街のあり方や個店の役割についてヒントを得る事ができた。これからの商店街の発展のために活かしていきたい」との声が聞かれ、有意義な講演会となった。

中小企業大学校 定禅寺セミナー

独立行政法人中小企業基盤整備機構（中小機構）東北本部では、中小企業が直面する最近の経営環境に関する情報提供を目的として <中小企業大学校 定禅寺セミナー> を開催しています。



2019年11月27日 水 14:00～16:15（開場13:30）

中小企業者の防災・減災対策 ～事業継続と信用形成～

会 場：仙台第一生命タワービル11階会議室（仙台市青葉区一番町 4-6-1）

対 象：中小企業・小規模企業者の管理者、中小企業支援機関の職員等

定 員：50名

参加申込：事前申込みが必要です。（先着受付順）定員到達又は開講日前日に締め切ります。

下記ホームページより参加申込書をダウンロードいただき、FAXでお申込下さい。

https://www.smrj.go.jp/regional_hq/tohoku/institute/index.html

中小企業者の防災・減災対策事例や中小企業強靱化法に基づく国等の支援策の活用事例について学びます。また関連する国の補助金、共済制度をご紹介します。

【お問い合わせ・お申込み】

独立行政法人中小企業基盤整備機構 東北本部 人材支援部
〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-6-1 仙台第一生命タワービル6階
TEL.022-399-9016 FAX.022-716-1752

中小機構東北 人材育成



元気な事業所紹介

受け継ぐ・縫製技術を後進の技術者へ
～後継者育成と地域に安心して働ける職場の提供を目指して～

有限会社 木村屋商事 専務取締役 木村 仁 氏

住所：宮城県石巻市相野谷字杉ヶ崎30番地1
電話：0225-25-4492



木村専務ご夫妻

【事業の概要】

昭和五十年代、現在事業を切り盛りする専務の母が、縫製工場の勤務経験を活かして創業。ミシン縫製技術を社員に伝えながら事業を拡大し、平成四年に法人化。現在は、大手百貨店で販売されるハナエモリ、ヨウジヤマモト等日本の主要ブランドのシルク素材スカーフ、ハンカチの縫製加工が売上の八割を占めています。取引先からはシルク製品の仕上がりの美しさにこだわった裁断や、縫製に必要な「千鳥三巻」「本縫い三巻」の技術に高い評価を得ています。

【新たな取り組み・転機】

東日本大震災で工場・設備の全てが流失、多くの社員が被災しました。県の「中小企業施設設備復旧支援事業費補助金」を活用して、現在地(旧河北町内)で工場等を復旧、震災で離職した従業員を呼び戻し営業を再開しました。当社の縫製技術を評価してくださる関東地方の取引先より、再開を望む声が多く寄せられたことも復旧の後押しになりました。

再開後、取引先の望む「高品質製品を短納期で」を実現



熟練の縫製技術

するには人員不足が課題となり、作業工程の効率化が必要と考え、新たな裁断機の試作開発に取り組みました。裁断工程に機械を導入することで作業時間の削減が可能となるとともに、裁断に費やす人員を縫製工程にシフトすることで、品質維持、短納期はもちろん、当社の強みである縫製技術を熟練技術者から後進の技術者へ受け継ぐ体制を築くことができました。

【商工会との関わり】

裁断機の開発には、宮城県商工会連合会のサポートイングラーターの全面的な支援を受け「ものづくり補助金」を

申請し、裁断機の試作機が完成しました。現在も裁断機の改良を続け、進化させながら活用しています。また、「ものづくり補助金」への申請、事業計画の作成をきっかけに、小規模事業者持続化補助金にもチャレンジし、新たな販路の開拓に取り組んでいます。

【今後の展望】

今後も永年培ってきた熟練技術者の技術継承による後継者育成を進めるとともに、縫製と言う仕事柄、女性の就業割合が高いことから、子育て世代の女性も安心して働ける環境を整備した地元根差す企業を目指し、日々努力していきたくと考えております。



仕上がりの美しさにこだわったスカーフ

宮城県(地域別)最低賃金が改定されました。

地域別最低賃金	時間額	効力発生日
宮城県最低賃金	824円	令和元年10月1日

年齢に関係なく、パートや学生アルバイトなどを含め、すべての労働者に適用されます。賃金が最低賃金以上になっているか、確認してみましょう。

必ずチェック最低賃金！使用者も、労働者も

最低賃金に関するお問い合わせは、宮城労働局または最寄りの労働基準監督署へ

小規模事業者持続化補助金活用レポート ②5

広告掲載、店舗リフォーム等

による販路開拓 日高見窯(みやぎ北上)

【取り組みむきつけ】

ものづくりの楽しさを感じていただきたいという想いから、平成二十九年十一月、陶芸教室や陶器販売を営む「日高見窯」を登米市登米町にオープンしました。

開店当初は、認知度不足のため来店客は想定を下回っていました。その一方で登米町内を観光する方や鳴子、松島等を観光される方に立ち寄っていたり、必要を感じていたことから、商工会の経営指導員のアドバイスで小規模事業者持続化補助金を活用して販路開拓の取り組みを行うことにしました。

①【具体的な取り組み内容】

①メディアを活用した自店のPR
認知度向上のため、登米・栗原を配布エリアとする情報誌及び県北、岩手県南を配布エリアとする新聞への広告掲載を行いました。
②新規顧客層の獲得を目的とした設備投資の実施
ファミリィやグルー

プ客も陶芸教室に参加できるよう電動ロクロを三台増設した他、流し台の入替や電気温水器を新たに導入し、顧客満足度の向上を図りました。
③イベント開催による新規顧客の獲得
陶芸教室の付加価値の向上と女性客・ファミリィ層の獲得を図るため、「日高見窯の器を使ったお食事会」を開催しました。

【事業実施による成果】

情報誌・新聞への広告掲載の効果により認知度が格段に向上し、特に夏休みや大型連休には親子での来店が増加しております。また、電動ロクロの増設により、ファミリィ層やグループ客の予約受入が可能となり、子供会行事での利用にも繋がっております。



大人から子どもまで楽しめる陶芸教室

【企業概要】

事業者名：日高見窯
代表者：鈴木 由香
所在地：〒987-0702
宮城県登米市登米町
寺池桜小路 103
TEL：090-1069-6896

経営指導員の声

事業主の柔らかい接客対応、陶芸教室での丁寧な指導があつてこそその事業成果であったと思います。観光客が多い登米町にとって、「体験」や「想いづくり」ができる貴重な場でもあり、更なる飛躍のため今後も伴走支援を図って参ります。
みやぎ北上商工会 森 淳

【今後の展望】

お客様に楽しんで頂ける陶芸教室を目指し、今後も他業種と連携した「陶芸教室+α」の企画を提案しながら付加価値を提供するとともに、町内で採掘されるスレートを釉薬に利用した作陶など、地域の特色を活かした事業展開を図ってまいります。

さらに、町内のカフェとの連携で行った「日高見窯の器を使ったお食事会」も好評を得ており、互いにリピーター獲得に結び付けることが出来ました。

商工会の福祉共済「傷害プラン」に 2,000円、3,000円、4,000円コース

熱中症の補償を新設!!

個人賠償責任保険も大好評!!

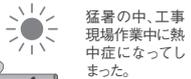
NEW!

熱中症の補償

日常生活や業務中に熱中症になったときに補償

新しく熱中症の補償を追加!

●例えば、このような熱中症になったとき



熱中症とは 急激かつ外来による日射または熱射により身体に障害を被ったことをいいます。

個人賠償責任保険

最高2億円まで補償 (国外は1億円限度)

●例えば、このような事故が起きたとき



個人賠償の
中身も
パワーアップ!

日常生活における様々な法律上の賠償事故を補償します!

※保険の対象となる方またはそのご家族が、補償内容が同様の保険契約を他にご契約されているときには、補償が重複することがあります。ご加入にあたっては補償内容を十分ご確認ください。
 ※保険金をお支払いする主な場合、保険金をお支払いしない主な場合については、ウェブサイト「補償のあらまし」をご確認ください。
 ※「個人賠償」の補償、「熱中症」の補償は傷害ライトプラン、シニア傷害プランには付帯されません。
 ※個人賠償責任保険について、国内での事故(訴訟が国外の裁判所に提起された場合等を除きます。)に限り、承継交渉は原則として東京海上日動火災保険株式会社が行います。
 ※個人賠償責任保険は東京海上日動火災保険株式会社(引受保険会社)が補償する「総合生活保険(個人賠償責任補償)」です。
 この広告は、福祉共済「傷害プラン」の熱中症の補償と個人賠償責任保険(「総合生活保険(個人賠償責任補償)」)の概要を紹介したものです。ご加入にあたっては必ず「重要事項説明」をよくお読みください。ご不明な点がありましたら、商工会までお問い合わせください。

商工会・宮城県商工会連合会・全国商工会連合会

(引受保険会社) 東京海上日動火災保険株式会社 (担当課) 広域法人部 法人第一課 東京都千代田区三番町6-4 TEL.03-3515-4147

宮城県多重債務無料相談会を開催！

多重債務問題に対応するため、事業者の方の無料相談会を下記のとおり開催します。

●相談会日程

開催日	会場	定員	相談会の内容
11月19日(火)	県大河原合同庁舎	4名	■相談会は、午前9時30分から午後4時30分まで ■相談時間は、1人あたり原則1時間30分とします。 ■当日は、宮城県よろず支援拠点のコーディネーター等からアドバイスを受けられます。
12月7日(土)	県庁	4名	
12月8日(日)	県庁	4名	
12月10日(火)	県石巻合同庁舎	4名	

●申込方法(事前予約制)

東北財務局金融監督第三課 電話 022-266-5703(直通)
予約受付時間 9時~12時、13時~17時(受付期間11月1日(金)~15日(金) ※土日を除く)

●主催 宮城県多重債務問題対策会議

●後援 宮城県市長会・宮城県町村会

●協力 宮城県商工会連合会・仙台商工会議所

＜協会けんぽ宮城支部の加入事業所様へお知らせ＞

「職場健康づくり宣言」を始めましょう！

9月末現在で
1,665社が宣言
しています

◎ 職場健康づくり宣言ってなに？

近年、少子高齢化による労働人口の減少やメンタルヘルス不調者の増加等により、企業にとって労働力の維持・確保はますます重要となっており、企業が社員の健康を重要な経営資源と捉え、健康増進に積極的に取り組む「健康経営」が注目されています。※「健康経営」はNPO法人健康経営研究会の登録商標です。

協会けんぽ宮城支部では「健康経営」に取り組む事業所様を応援するため「職場健康づくり宣言」事業を平成28年9月より開始しました。各事業所の皆さまが比較的容易に健康増進に取り組んでいただけるような内容となっておりますので、ぜひご利用願います。

【宣言登録等の流れ】



【登録特典一覧】

- 特典1 ハローワークの求人票に「職場健康づくり宣言事業所」である旨を掲載 (イメージアップ・優秀な人材の確保)
- 特典2 七十七銀行、石巻商工信用組合での個人向け融資利率の割引
- 特典3 一部のフィットネスクラブの入会金・体験料が無料
- 特典4 各種出前講座などの割引
- 特典5 健康診断(追加オプション等)の受診割引

登録すると特典がいっぱいです♪



⇒ 宣言登録方法や特典の詳細等は協会けんぽ宮城のホームページへGo！

協会けんぽ 宮城

検索

<お問い合わせ先> ※健康保険組合加入の場合はそれぞれの組合へお問い合わせ願います。



全国健康保険協会 宮城支部
協会けんぽ

☎980-8561 仙台市青葉区国分町3-6-1 仙台パークビル8F
☎022-714-6851(企画総務グループ直通)



— § 宮城の中小企業を応援します § —

業界初!! 休業対応応援共済

火災・台風などによる事故はもちろん、地震・津波・噴火などにより建物が損害を受け休業した場合に補償する共済で、事業活動を手厚くサポートします!!



火災共済 自動車共済 その他共済 損保代理店 **先ずはお見積りを!!**

お問い合わせ・お申込みは **お近くの商工会へ** あるいは直接 **宮城県火災共済協同組合へ**

TEL. (022) 263-1265 FAX (022) 267-2878



青年部
コーナー

アンガーマネジメントで 怒りをコントロール

— 青年部正副部長研修会 —

去る九月二十日、ホテル白萩において、県下商工会青年部員五十七名参加のもと、アンガーマネジメントファシリテーター 瀬戸口仁氏を講師に迎え、研修会を行った。

瀬戸口氏からは、スポーツ記者時代の野球を中心とした豊富な取材経験と、日米野球界の選手・監督のエピソード等を踏まえ、「怒り」をコントロールするために、怒りの頂

点に達するまでの六秒間をやり過ぎするための六つの手法や自分と異なる考えの許容範囲を広げることで怒りを抱く機会を少なくするための四つの手法等について、実例を交えながら講演いただいた。

また、若者（特に二十代前半）は相手の話を聞き流すことが難しく、話の全てを受け入れようとして、うつ状態に陥ってしまう傾向が高いこと



講師の瀬戸口氏



女性部
コーナー

クレーム客をファンに変える 対応術を学ぶ

— 商工会女性部リーダー研修会 —

去る九月二十六日、TKPガーデンシティ仙台を会場に百七名の部員参加のもと商工会女性部リーダー研修会が開催された。

初めに、「絶対わかる！活用できる！最近よく聞く事業承継税制って何？」と題し、宮城県よろず支援拠点コーディネーター 五十嵐忍氏より、法人版事業承継税制の概要や税制適用における相続税・贈与税の税額等について具体例をもとにご説明いただいた。

クレーム・コンサルタント谷厚志氏より、企業のお客様相談室で二千件以上のクレームを対応した経験をもとに、「お客様の怒りを笑顔に変える！クレーム対応講座」と題し講演を頂戴した。



笑いの絶えない講演となった

最後に、アンガーマネジメントは「自分自身が実践して、納得する」ことが重要なので、今日からでもすぐに実践していただきたいと締めくくった。

講演終了後、県青連の活動報告と今後の事業計画について、加藤会長から説明があった後、未来創造、交流、広報の各委員会を担当する副会長から今年度の事業運営について説明がなされ、研修会は終了となった。

阿部秀一君(丸森町) 最優秀受賞！ 全国大会へ — 東北六県・北海道商工会 青年部員交流研修会 —

第二十六回東北六県・北海道商工会青年部員交流研修会並びに令和元年度商工会青年部主張発表東北・北海道ブロック大会が八月二十九日、郡山市「郡山ビューホテルアネックス」を会場に、本県より四十二名を含む東北・北海道から青年部員四百三十名が参加し盛大に開催された。

初めに主張発表大会が行われ、本県代表の阿部秀一君は「MARUMORI PRI DE」水と緑と私たちが輝く町へ」と題して、事業経営での学びをきっかけに、他の青年部員と協力して町の自然の魅力を活かしたフィナンランドサウナを開業し、高齢化が進む町の活性化に繋がる取り



最優秀賞を受賞した阿部秀一君(丸森町)

組みについて熱弁を奮った。審査の結果、見事最優秀賞を獲得し、十二月四日、五日に愛知県名古屋市中で開催される全国大会に東北・北海道ブロックの代表として出場することとなった。

続いて、全国商工会青年部連合会会長の奥村直幸氏より「excited by impulse」と題し講演が行われ、現在全青連事業として取り組んでいる、Google社のデジタルスキルの習得を目的とした「Grow with google」の内容を中心に説明がなされた。

その後の交流会では、終始和やかな雰囲気の中で情報交換の輪が広がり、同じ志を持つ他県の若手経営者等との異業種交流が行われる等、本研修会は盛会裡に終了した。